

# Campus Mail

For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology  
福岡工業大学

この件のお問い合わせは広報課へ  
TEL : 092-606-0607  
MAIL : kouhou@fit.ac.jp

掲示期間 2021-096  
10月19日～11月9日

## 『課題解決型インターンシップ』

## 一般社団法人 新宮町おもてなし協会 実習報告

課題解決型インターンシップとは、

- ・『実践する力』（学んだ知識を応用し、実際の仕事の中で活用していく力）の育成を目的とした、2・3年生対象の選択科目「インターンシップⅠ」「インターンシップⅡ」の1つの型。
- ・企業が実際に抱える課題に取り組み、課題を解決するためのプロセスを実践することで実社会でも応用可能な汎用的能力を養うことを目的とする。2名程度でチームを組み活動することにより、自分の専門性を活かしながら他者とチームで働く力を養うことができる。

- 企業名：一般社団法人 新宮町おもてなし協会
- 課題：立花山看板設置計画
- 達成目標：立花山の安心安全感を向上させるため、立花山に看板設置を行う
- 概要：立花山に3種類の看板を設置（レスキューポイント看板、案内看板、コース区分看板）

### ＜＜課題＞＞

コロナ禍で立花山登山者が増えている中、現状の立花山では、怪我人を迅速に救助できない。また、始めて来られた登山者の方向へのコース区分等も必要。

### ＜＜提案内容＞＞

実際に立花山登山をし、自分達が感じた事、登山者の生の声をふまえて、景観を崩さない程度の看板を3種類設置する。（①レスキュー看板、②案内看板、③コース区分看板）。

活動中の写真



立花山現地調査

活動中の写真



得た情報を基に分析・整理

実際に作成した看板(3種・20個)

※以下作成した看板の一部です。



これらの看板を2人で作成し、計20ヶ所に設置することを提案

活動中の写真



新宮町役場にプレゼンテーションで提案内容を発表

### 【実習を通じての感想や学んだこと】

社会環境学科 2年 坂本 真咲

世界の情勢が変わっている中で町の観光がどう変わっていくのか、また実際に行う事業を経験させてもらい、事業を進めるうえで必要なこと等を教えてもらい、大変勉強になった。

社会環境学科 2年 松下 加偉

コロナ禍で観光事業を立ち上げることは簡単なことではありませんでしたが、初めての観光の仕事に携わらせていただき、嬉しくそして勉強になった。

○緊急事態宣言の発令に伴い、プロジェクトが相島観光客誘致事業から、立花山看板設置事業と大きく変更となった。内容が大きく変わり戸惑った部分もあるが、立花山の自然のすばらしさや登山常連客の温かさなどを実際に感じ、この立花山をこれからもずっと安全に登山することのできる山にしたいと強く感じた。実習中は看板設置計画に加えて、提案書の書き方やコミュニケーションを意識する場面も多くあり、メインの観光事業以外でも学びが得られた。今後の学校生活では、自分たちの提案が多くの人に認められるように試行錯誤することや、年上の方に向けてのコミュニケーションの取り方や文書の作成を振り返りながら、実習での学びをこれからも活かしていきたい。（坂本・松下）